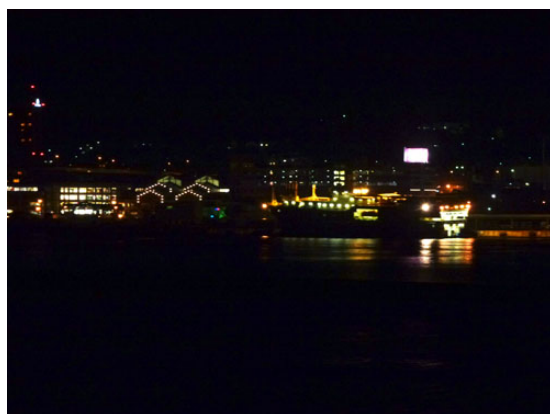
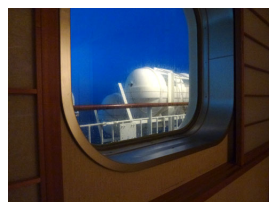


3166 北の大地：小樽到着は午後 10 時前

以前にも 2 回体験。冬の海は荒れて船酔いに苦しんだ体験がある。今回は特別に海も荒れることなく到着。
小樽港到着前からワクワクして甲板へ。夕焼け、やがて、暗くなった頃、陸地や港の明かりが目に飛び込んできた。
いよいよ上陸。期待が膨らむ。ホテルの予約はない。ラッキー、スマイル、オン、ミー。

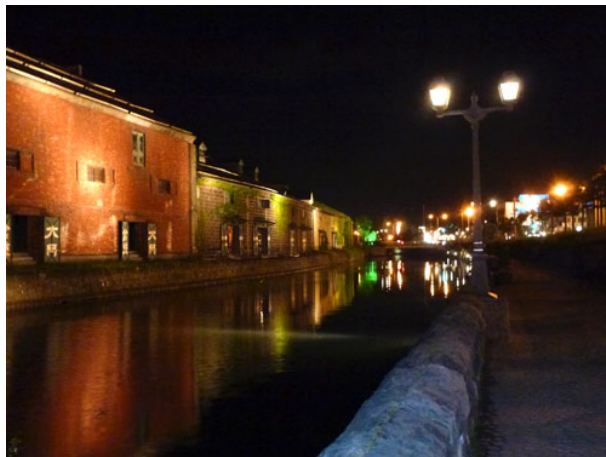
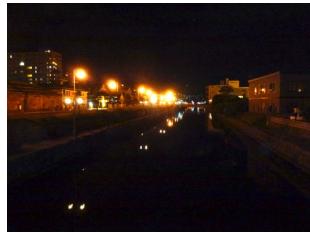


船内での夕食も考えたが、気が向かなかった。ホテルを確保すると外に飛び出した。散策と食事。

以前にもフェリーで小樽を訪ねているので、土地勘はある。小樽運河の倉庫街を目指した。
午後 10 時を過ぎているものの営業しているところも多い。ドイツ風、面白い。ビアレストランに飛び込んだ。



外国人のグループが数人、まるで外国に来ているような雰囲気。お腹も空いていた。早速注文。
この後散策もしたい。ホテルも近いのでジョッキも注文。異国情緒の雰囲気の中、食事もなかなか美味だった。
午前様になるかもしれないが、夜の小樽運河も散策したい。記録写真も撮りたい。



フェリーでは船酔い防止のため、ぐっすり睡眠。明日の朝が楽しみ。早起きして取材を。
人がいない時間帯。果たして可能か否か。小樽から先の予定や目的地をまだ決めていない。情報収集も課題。
今やることは、散策後、歩き疲れて、短時間だが、ぐっすり眠る事。全ては、明日の朝に。